

国立市コミュニティワゴン試行運行 平成 26 年度の評価について

国立市コミュニティワゴンは、平成 26 年 4 月 16 日から最長 3 年間の予定で試行運行を実施しているが、平成 26 年度第 2 回国立市地域公共交通会議で評価基準（目標値）を定め、毎年度の評価を行うこととしている。

平成 26 年 4 月の試行運行開始から 12 月末までのデータをもとに 3 月までの数字を推計し、以下の通り平成 26 年度の評価とする。

■ 1 利用者数

平成 26 年試行運行開始から 12 月末までの各ルートの月別利用者数と、1 日当たりの利用者数は以下の通りである。

	青柳ルート		泉ルート		矢川・東ルート	
	利用者数	1 日当たり	利用者数	1 日当たり	利用者数	1 日当たり
4 月(13)	372	28.6	145	11.2	204	15.7
5 月(27)	794	29.4	421	15.6	354	13.1
6 月(25)	919	36.8	431	17.2	484	19.4
7 月(27)	962	35.6	573	21.2	576	21.3
8 月(26)	1,104	42.5	554	21.3	458	17.6
9 月(26)	1,043	40.1	601	23.1	642	24.7
10 月(27)	984	36.4	468	17.3	503	18.6
11 月(25)	869	34.8	430	17.2	486	19.4
12 月(27)	1,040	38.5	418	15.5	476	17.6

（※月のカッコ内数字は稼働日数

単位：人、人／日）

■ 2 経費

(1) 全体の経費（H26 年 4 月～H27 年 3 月分の 1 年間の見込み）

	収入	支出
運賃収入	2,768,542	
人件費		22,488,990
燃料油脂費		3,586,145
車両リース料		3,744,000
自動車重量税		39,000
車両修理点検費		492,000
保険料		661,020
回数券印刷費		195,300
車両ラッピング費用★		754,920
教習時レンタカー代★		632,813
教習時燃料費★		162,235
教習時教育費★		438,000
収入合計	2,768,542	
支出合計		33,194,423
損 益		-30,425,881

単位：円

31,206,455 ←支出合計から初年度のみ費用★を除いた額※ 1

-28,437,913 ←※ 1 に基づく損益

27,462,455 ←上記からさらに車両リース代を除いた額※ 2

-24,693,913 ←※ 2 に基づく損益

(2) ルートごとの状況（H26 年 4 月～H27 年 3 月分の 1 年間の見込み）

（経費には、初年度のみ費用★は含まない）

	輸送 人員	1日 当たり	営業収入	経費合計	(経費内訳)			収支率	営業 係数
					燃料費	人件費	その他		
	(人)	(人)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(%)	
青柳	10,879	36.3	1,311,188	10,418,352	1,241,350	7,466,562	1,710,440	12.6	795
泉	5,436	18.1	740,516	9,968,872	1,164,296	7,094,136	1,710,440	7.4	1,346
矢川 ・東	5,627	18.8	716,838	10,819,231	1,180,499	7,928,292	1,710,440	6.6	1,509
計	21,943	73.1	2,768,542	31,206,455	3,586,145	22,488,990	5,131,320	8.9	1,127

■ 3 国立市コミュニティバス「くにっこ」青柳・泉ルートとの比較

現在休止中の、国立市コミュニティバス「くにっこ」青柳・泉ルートとの比較（平成 25 年度実績）については以下の通りである。

（1）青柳ルート

平成 25 年度の 1 年間の国立市コミュニティバス「くにっこ」青柳・泉ルートの青柳コースの利用者数は 10,209 人（1 日当たり 28.0 人）であった。一方、コミュニティワゴン試行運行「くにっこミニ」の平成 26 年度（H26 年 4 月～H27 年 3 月分の 1 年分の見込み）は 10,879 人（1 日当たり 36.3 人）である。「くにっこミニ」は日曜日運休であることを考えると「くにっこ」バスの青柳コースをやや上回ると考えられる。

（2）泉ルート

平成 25 年度の 1 年間の国立市コミュニティバス「くにっこ」青柳・泉ルートの泉コースの利用者数は 16,237 人（1 日当たり 44.5 人）であった。一方、コミュニティワゴン試行運行「くにっこミニ」の平成 26 年度（H26 年 4 月～H27 年 3 月分の 1 年分の見込み）は 5,436 人（1 日当たり 18.1 人）である。「くにっこミニ」は日曜日運休であることを考えても利用者数は「くにっこ」バスの泉コースの 1/3 以下となっている。

■ 4 現況評価

（1）青柳ルート～評価＝C（評価基準（目標値）については 4 ページ参照）

平成 26 年度の 1 日当たりの利用者数 36.3 人、収支率 12.6%と見込まれることから、青柳ルートの評価は C で「抜本的な見直しが必要」であるが、1 日当たりの利用者数が 40 人を上回る月があることや、2 月 16 日以降の増便後の利用状況などもふまえながら引き続き状況改善に努める。また 100 円運賃利用者の割合が 7 割に上ることから、高齢者・しょうがいしゃの交通手段として使われていると考えられる。

（2）泉ルート～評価＝C

平成 26 年度の 1 日当たりの利用者数 18.1 人、収支率 7.4%と見込まれることから、泉ルートの評価は C で「抜本的な見直しが必要」である。泉地区での人口集積地である泉団地周辺がルートから外れた影響もあり「くにっこ」バスに比べると利用者は大幅に減少した。しかし、泉地区は立川バス、京王バスの路線があり、シルバーパスや定期券が利用でき、矢川駅や国立駅、中河原駅に一本で出られることを考えると、コミュニティワゴンの役割等について再検討し、ルート、ダイヤ等について大幅な見直しを実施する必要がある。

（3）矢川・東ルート～評価＝C

平成 26 年度の 1 日当たりの利用者数 18.8 人、収支率 6.6%と見込まれることから、矢川・東ルートの評価は C で「抜本的な見直しが必要」であるが、新規路線であることや沿線地域の人口密度はある程度高いことから、利用者の要望等を検討し、引き続き周知・広報に努めるとともに、需要に応じたルート、ダイヤなどの見直しを図っていく必要がある。

■参考資料

(1) 評価基準（目標値）～平成 26 年度第 2 回地域公共交通会議合意事項

- ・評価は、A,B,C の三段階とする。
- ・A：本格運行へ移行
- ・B：さらなる試行運行の継続…ルートは概ね固定とするが、ダイヤ等については随時改善を重ね、利用向上を図るための試行運行を継続する。
- ・C：抜本的な見直し…現在の試行運行のルート、ダイヤの抜本的見直し、また、コミュニティワゴン以外の方法への移行も含むものとする。

評価基準（目標値）（ルートごと）

	A	B	C
1 日あたり利用者数	70 人以上	50～70 人	50 人未満
財政投入額(年間)	550 万円以下	550～900 万円	900 万円以上
収支率	30%以上 (営業係数 330 以下)	20%以上 (営業係数 500 以下)	20%以下 (営業係数 500 超)

※A,B については原則として全ての評価項目で目標値を満たすものとするが、状況に応じた判断を行うこととする。

留意点：・国立市コミュニティバス「くにっこ」青柳・泉ルートとの比較をあわせておこなう。

- ・高齢者、しょうがい者等の外出に寄与しているかについても考慮する。
- ・財政投入額についてはコミュニティバス事業全体での収支全体で考える。

(2) 国立市コミュニティバス「くにっこ」青柳・泉ルート利用者数

H25 年度実績	青柳コース(13 便/日)	泉コース(12 便/日)
4 月	853	1,509
5 月	868	1,536
6 月	923	1,554
7 月	990	1,610
8 月	944	1,490
9 月	929	1,574
10 月	923	1,486
11 月	747	1,159
12 月	756	1,098
年末年始	35	64
1 月	710	903
2 月	719	994
3 月	812	1,260
合計	10,209	16,237

(単位：人 ※くにっこバスは日曜日も運行。無賃乗車数はカウントせず)